



## 2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2018年6月27日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東  
 コード番号 7611 URL http://www.hiday.co.jp/ir/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 均  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 島 需一 TEL 048-644-8030  
 四半期報告書提出予定日 2018年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年2月期第1四半期の業績 (2018年3月1日～2018年5月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	10,643	5.0	1,356	△6.0	1,364	△6.1	917	△6.6
2018年2月期第1四半期	10,138	6.0	1,442	14.2	1,452	14.3	982	21.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	26.55	—
2018年2月期第1四半期	28.42	—

(注) 2018年3月1日付けで普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第1四半期	29,508	23,449	79.5
2018年2月期	29,310	23,070	78.7

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 23,449百万円 2018年2月期 23,070百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年3月1日付けで普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。2018年2月期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 2019年2月期の業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,400	5.7	2,760	4.1	2,740	3.6	1,800	3.7	52.10
通期	43,000	5.8	4,900	4.7	4,850	5.5	3,190	5.6	92.33

(注) 2018年3月1日付けで普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。

直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期1Q	34,679,197株	2018年2月期	34,679,197株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	133,924株	2018年2月期	127,894株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期1Q	34,546,412株	2018年2月期1Q	34,556,859株

(注) 2018年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
3. 補足情報 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しなどもあり緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響もあり先行きは不透明な状況でありました。

外食産業においては、人手不足による人件費関連コスト等の上昇が続き、厳しい状況でありました。

このような環境のもとで、当社は引き続き首都圏600店舗体制に向けた安定的な新規出店、サービス水準向上に向けた取り組みや季節メニューの投入などを行い、業容拡大を図ってまいりました。

店舗展開については、5店舗出店(東京都4店舗、埼玉県1店舗)、退店が3店舗となりましたので、5月末の直営店舗数は415店舗となりました。業態別の店舗数は「日高屋」(来来軒含む)が390店舗、「焼鳥日高」が24店舗、「中華一番」が1店舗となりました。

季節メニューとしては、4月に「黒酢しょうゆ冷し麺」、おつまみメニューの追加やアルコール度数が高めの「吟醸ロック酒20度」、「エビ辛とんこつつけ麺」を投入しました。また、4月30日には麺類・定食類の価格改定を実施しました。アルコール類が好調に推移したことに加え価格改定を実施したこともあり、既存店の3月～5月累計の売上高前年同期比は102.5%となりました。

生産・原価面につきましては、無洗米やビール等の食材の値上げもあり原価率は27.3%(前年同四半期は27.1%)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、処遇改善のためのベースアップ実施などによる人件費の増加、新規出店が5店舗(前年同四半期は3店舗)になったことや、電気代やガス代などの光熱費増加等により対売上高比は60.0%(前年同四半期は58.7%)となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は106億43百万円(前年同四半期比5.0%増)、営業利益は13億56百万円(前年同四半期比6.0%減)、経常利益は13億64百万円(前年同四半期比6.1%減)、四半期純利益は9億17百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は295億8百万円となり前期末に比べて1億98百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

負債合計は60億58百万円となり前期末に比べて1億80百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少によるものであります。

純資産合計は、234億49百万円となり前期末に比べ3億79百万円増加し、自己資本比率は79.5%(前期末78.7%)となりました。これは四半期純利益9億17百万円の計上等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の業績予想については、既存店も概ね計画通りに進捗しておりますので、現時点では2018年4月5日付「2018年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表した数値からの変更はございません。新店舗は6月に1店舗開店しており、6月末の店舗数は416となります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,252,980	11,417,953
売上預け金	188,755	188,845
売掛金	31,638	34,289
店舗食材	160,072	185,222
原材料及び貯蔵品	80,800	82,858
その他	696,679	741,951
流動資産合計	12,410,926	12,651,122
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,028,420	12,119,499
減価償却累計額	△5,727,935	△5,811,221
建物(純額)	6,300,485	6,308,277
構築物	125,182	125,525
減価償却累計額	△78,385	△80,115
構築物(純額)	46,797	45,410
機械及び装置	2,316,742	2,327,502
減価償却累計額	△1,537,496	△1,574,580
機械及び装置(純額)	779,245	752,921
車両運搬具	9,559	9,559
減価償却累計額	△8,133	△8,312
車両運搬具(純額)	1,425	1,247
工具、器具及び備品	2,238,067	2,278,811
減価償却累計額	△1,730,097	△1,769,061
工具、器具及び備品(純額)	507,969	509,749
土地	1,807,544	1,807,544
建設仮勘定	3,109	4,603
有形固定資産合計	9,446,577	9,429,755
無形固定資産	196,011	185,443
投資その他の資産		
投資有価証券	153,380	148,462
敷金及び保証金	4,456,946	4,478,047
その他	2,666,726	2,636,395
貸倒引当金	△20,369	△20,369
投資その他の資産合計	7,256,683	7,242,535
固定資産合計	16,899,272	16,857,735
資産合計	29,310,198	29,508,857

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2018年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	890,038	934,746
1年内返済予定の長期借入金	90,000	60,000
未払法人税等	928,525	518,902
賞与引当金	402,529	655,129
その他	2,417,110	2,525,759
流動負債合計	4,728,203	4,694,537
固定負債		
資産除去債務	693,718	705,208
その他	817,502	659,146
固定負債合計	1,511,221	1,364,354
負債合計	6,239,425	6,058,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,682	1,701,684
利益剰余金	19,836,878	20,235,949
自己株式	△105,931	△122,395
株主資本合計	23,057,992	23,440,601
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,780	9,364
評価・換算差額等合計	12,780	9,364
純資産合計	23,070,773	23,449,965
負債純資産合計	29,310,198	29,508,857

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
売上高	10,138,510	10,643,859
売上原価	2,745,538	2,903,851
売上総利益	7,392,971	7,740,007
販売費及び一般管理費	5,950,156	6,383,325
営業利益	1,442,815	1,356,682
営業外収益		
受取利息	137	117
受取配当金	2,817	9,978
受取賃貸料	3,733	5,104
その他	12,717	7,044
営業外収益合計	19,406	22,245
営業外費用		
支払利息	301	119
固定資産除却損	8,778	13,450
その他	592	989
営業外費用合計	9,672	14,559
経常利益	1,452,548	1,364,367
特別利益		
固定資産売却益	—	2,999
特別利益合計	—	2,999
特別損失		
減損損失	—	3,870
特別損失合計	—	3,870
税引前四半期純利益	1,452,548	1,363,496
法人税等	470,380	446,155
四半期純利益	982,167	917,341

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

①業態別売上高

(単位：千円)

期別 業態区分	前第1四半期累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)			当第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)			(参考) 2018年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	375	9,694,137	95.6	390	10,205,947	95.9	389	38,963,044	95.9
焼鳥日高	23	418,575	4.1	24	416,617	3.9	23	1,575,600	3.9
その他業態等	1	25,796	0.3	1	21,295	0.2	1	104,976	0.2
計	399	10,138,510	100.0	415	10,643,859	100.0	413	40,643,621	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華そば日高屋」「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。

4. 「焼鳥日高」の店舗数増加などに伴い、業態区分を修正しております。前第1四半期累計期間の数値も修正しております。

5. 「その他業態等」は、「中華一番」、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位：千円)

期別 地域区分	前第1四半期累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)			当第1四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)			(参考) 2018年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	194	5,189,689	51.2	205	5,517,905	51.8	203	20,939,763	51.5
埼玉県	97	2,273,885	22.4	101	2,357,893	22.2	100	9,066,443	22.3
神奈川県	65	1,602,369	15.8	65	1,646,546	15.5	65	6,317,544	15.6
千葉県	40	1,010,786	10.0	41	1,057,586	9.9	42	4,075,299	10.0
栃木県	1	26,200	0.3	1	28,733	0.3	1	106,153	0.3
茨城県	2	35,579	0.3	2	35,194	0.3	2	138,416	0.3
計	399	10,138,510	100.0	415	10,643,859	100.0	413	40,643,621	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

1. 焼鳥日高 西八王子店 2. 清瀬南口店 3. 高円寺北口駅前店 4. 田町東口店 5. 新越谷東口店

〔閉鎖店舗〕

1. 松戸西口北店 2. 巣鴨北口店 3. 六本木三丁目店

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。